

限界集落の賑わいを夢見て…

◎花の里プロジェクト アジサイ植樹



11月11日、日吉中学校の郷土学習で、アジサイの苗の植樹が行われました。

富母里地区にある、那須史憲さん所有の段々畑に、日吉中学校の1・2年生8名がアジサイの苗50本を植栽。将来、様々な花で溢れる美しい花の里を作ろうと、鍬を手に汗を流しました。

限界集落となっている富母里地区。那須さんは「ここに住む人がいなくなっても、人が訪れる場所にしたい」「花の木が成長した十数年後、みんなの子どもを連れてまた来てほしい」と、中学生たちに語りかけ、地域が賑わう未来に思いを寄せていました。

自宅で楽しむ長寿のお祝い

◎令和4年度敬老行事



10月25日から11月11日の間、各地区で敬老行事の仕出し料理の配達が行われました。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、今年も会場に集まっての開催は中止となった敬老行事。役場職員が、仕出し料理を希望した70歳以上の方の自宅などを訪問し、長寿をお祝いしながら料理を手渡しました。

また、米寿を迎えた高齢者の方には、料理の配達に合わせて、表彰状と記念品を贈呈。宇和島ケーブルテレビでは、保育園児や小中学生が出演した敬老番組が放送され、健康長寿を祝いました。



▲「日吉の人は強いなあ！」という声も聞かれました



▲思い通りにいかない投球に悔しい表情

2023年本大会の成功に向けて

◎ねんりんピック ペタンク競技リハーサル大会

11月6日、「ねんりんピック愛顔のえひめ2023ペタンク競技」のリハーサル大会が、鬼北総合公園グラウンドで行われました。

令和5年10月に開催される、ねんりんピック本大会の円滑な運営に向けて、関係団体の連携や準備・運営等を検証するために実施されたリハーサル大会。ペタンク競技が盛んな日吉地区のチームや、役場職員チームのほか、町外県外からも訪れた総勢48チーム144名の選手が、本大会の成功に向けて、交流しながら汗を流しました。

